

専門学校とは

専門学校に関する基本情報をまとめています。

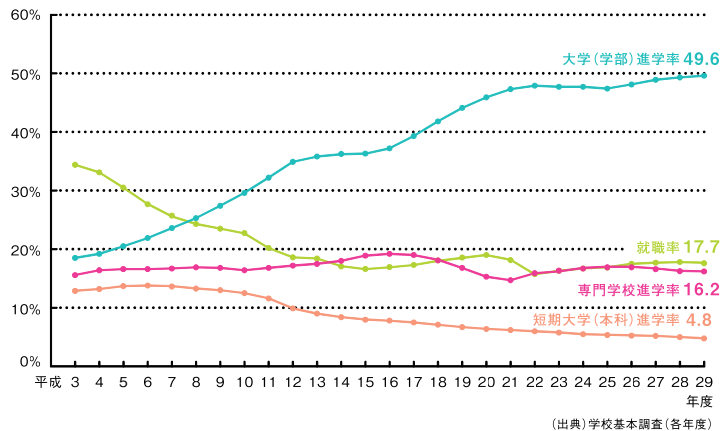
「職業実践専門課程」認定への取組により、教育内容の充実も進んでいます。

専門学校とは

- 専門学校(専修学校専門課程)は、高等学校卒業者等を対象とする高等教育機関で、全国に約2,800校、約58万9,000人の生徒が学んでいます(平成29年度)。
- 専門学校での教育の大学との違いは、実践的な職業教育が行われていることです。各専門学校では、社会・産業のニーズの変化に速やかに対応し、多様な教育を展開しています。学習内容の特徴として、当該分野の理論に加えて、企業等と連携した授業や実習・演習など、実践力を身に付けるための学びが充実していることが挙げられます。
- また、専門学校卒業後の就職先も当該専門分野に直結していることが多く、プロフェッショナルを育てるための教育・支援の体制が整っています。
- 専門学校はこれまでに950万人以上の卒業生を輩出し、各分野で活躍しています。また、最近では、社会人や留学生の受け入れも増えています。

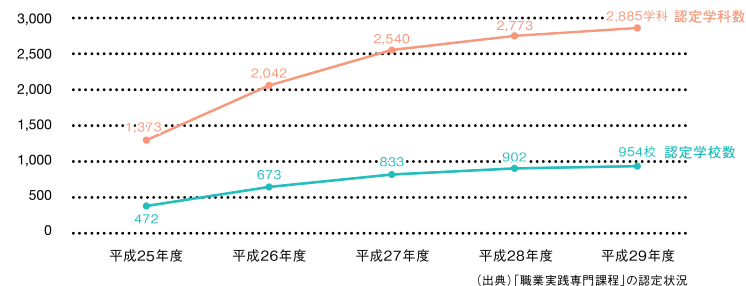
専門学校への進学状況

- 高等教育機関全体の中では、専門学校は大学に次ぐ学生数を受け入れています。新規高等学校卒業者の専門学校への進学率は、平成22年度以降横ばいで推移しており、平成29年度は16.2%でした。長年にわたり、新規高等学校卒業者の15%超が専門学校に進学しています。



「職業実践専門課程」とは

- 専門学校のうち、企業などと密接に連携して、最新の実務の知識・技術・技能を身に付けられる実践的な職業教育に取り組む学科を、平成26年4月より文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定しています。
- 年1回認定が行われ、年々「職業実践専門課程」として認定を受ける学科は増えています。平成30年2月時点で、全国の954校(全専門学校の33.8%)、2,885学科(修業年限2年以上の全学科数の38.9%)が認定を受けています。



- 「職業実践専門課程」の認定を受けている学科の特徴は以下のとおりです。

- 修業年限が2年以上
- 総授業時数が1,700時間以上または総単位数が62単位以上
- 企業等と連携体制を確保して、授業科目等の教育課程を編成
- 企業等と連携して、演習・実習等を実施
- 企業等と連携して、教員に対し、実務に関する研修を組織的に実施
- 企業等と連携して、学校関係者評価と情報公開を実施

- 教育課程の編成から授業の実施、教員の研修、評価に至るまで、専門学校と企業等が綿密に連携しています。

